



あお やま のり たけ
青山 昇武

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

学校施設等におけるAED設置場所について

問 小・中学校施設の屋内にAEDが設置されているが、使用するに当たり、現状では限られた時間しか使用できない。

屋外にあれば校舎や体育館などが施錠されていても使用できる。休日、夜間の学童保育、クラブ活動や学校開放などで、万が一の事態が発生した場合に迅速な対応が図れ、地域の方などの使用環境の向上にもつながる。AEDの屋外設置を求める。

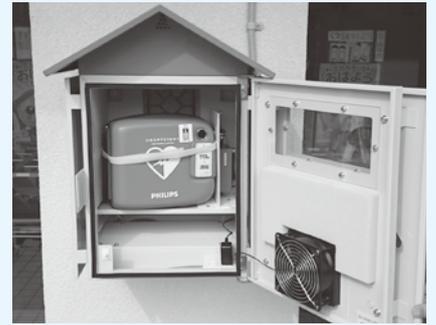
答 AEDの屋外設置の例は、全国的にも徐々に増えてきていると聞いている。

現在、市内各学校のAEDは5年間のリース契約により設置している。このリース期間が満了する際には、屋外設置に伴う盗難などの防犯面、電源確保などの問題も出てくることから、先進市の事例や費用対効果も考慮しながら効果的に誰もが使用できるように十分に検討していきたい。

現在設置しているAEDについては、リース契約の満了時期が一番早いもので平成30年となっているが、土日の社会体育やスポーツ、平日の夜間の体育館使用者など、あらゆる方が使用いただけるよう十分に検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 悪質電話被害防止について
 - 詐欺電話の状況と対策は
- AED設置状況について
 - 市内コンビニへの設置推進を
 - テニス競技人口増加に伴って
 - 中学校の部活動に対する環境整備が必要では
 - 市内テニスコートの状況と今後の計画的な整備について
 - メッセージング・みえの施設利用料金の改定について など



▲休日・夜間にも利用できる屋外設置のAED



つじ みつこ
辻 美津子

しみんくらぶ
市民クラブ

久居駅周辺地区都市再生整備事業について

問 久居駅周辺整備については旧久居市の時代から脈々と続けられてきた「まちづくり」である。

合併後も久居駅周辺地区を「副都市核」と位置付け本市南部の玄関口として交流機能の向上と、さらなるにぎわい創出の場となるよう取り組んでいくとのことだが、整備事業の概要と将来目標、構成する各事業の内容について問う。

答 久居駅周辺の都市基盤として必要なもの、市民が求めているものをつくり上げる「久居駅周辺地区都市再生整備計画」を策定し、社会資本整備総合交付金と合併特例事業債を活用し事業を行う。内容は、旧久居総合支所跡地への（仮称）津市久居ホールの整備、久居駅東西口広場・東口駐輪場・東口駐車場の整備、成美地区内の既設水路改修による災害時の避難路整備、久居駅東口へのアクセスの利便性と安全性向上を図るための市道新町野口線の道路改良である。この他、久居市民会館解体後、跡地へ一時避難所機能を有する久居交流広場の整備、久居駅東口防災施設・耐震性貯水槽・防災備蓄倉庫の整備、久居体育館のユニバーサルデザイン化などの事業を5年間で行っていく。

●その他の質疑・質問●

- ポルタひさい市営駐車場について
 - 案内表示の設置を
- 少子化対策について
 - 保育所の待機児童の現状は
 - 保育士の確保状況は
 - 育児休業取得時における在所児に対する保育所の対応は
 - 少子化対策における取り組みの現状と今後の対策は



▲久居交流広場に生まれ変わる予定の久居市民会館